



会長 古賀 健一郎
副会長 古田 和彦
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 古田 和彦

国際会長 (IP) Kim Sang-chaе (Korea)

“Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長 (AP) 大野 勉 (神戸ポート)

“Make a difference beyond the 100th”

「100年を越えて変革しよう」

東日本区理事 (RD) 大久保 知宏 (宇都宮)

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

“Think for the next generation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「咲かそう 人の輪〜明るく・楽しく・元気よく〜」

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「今こそ『すべての人を一つにして下さい』(ヨハネ17章)を覚え、平和への行動を！」

“Now, keeping 『All be one with each other』 (John 17), Act for peace!”

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 青木 英幸

<今月の聖句>

押川 幸男

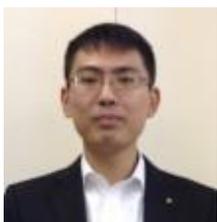
「狼は小羊と共に宿り、豹は子山羊と共に伏す。
子牛は若獅子と共に育ち、小さい子供がそれらを導く。」

(イザヤ書11章6節)

今月のひとこと

『ワイズメンズクラブ東日本区法人化』

齋藤 宙也



久しぶりの寄稿です。

何を書こうか…と思っていたところ、ちょうど、東日本区の法人化が成った話があった。

大分昔から構想はあったものの、結局現状維持に終わり、費えていた構想である。数年前から、リトライのため会合を重ねてきた。法人の形態については、NPO 法人と一般社団/財団法人が検討された。

東日本区全体となると、NPO 法で限定列挙された業務内容に当てはまるのかという問題や、監督官庁とのやり取りの問題、現在の区定款との整合性などに難があった。財団法人も、YMCA と異なり、基本財産という概念を設定し難い

め、当てはまらなかった。そのため、一般社団法人しかなかった(なお、いきなり公益社団法人にすることは不可能)。

その法人定款は、区定款を一般法人法の要請に従う形でコンバートする必要があった。言うまでもなく、これが一番難しい作業であった。おおむね、現在の区役員会を法人法上の理事会、代議員会を法人法上の社員総会に変換したが、そうになると、法人法上の社員は誰になるのかというかなりの難題が出た。代議員は、クラブ会長のほか、部選出の人もいる。前者は、クラブという任意団体を1社員として、代表者(会長)が議決権を行使するという形にして対応できるが、後者はどうするか。

結局、社員の資格を東日本区に属する団体及び個人とし、前者は各クラブ、後者は部選出代議員を想定することにした。公証人との修正協議で、「東日本区に属する団体及び個人から選定する」ということで、より分かりやすい表現となった。これにより、現行と同様、クラブ会長及び部選出代議員が、代議員会で決議するという体制が維持されることになった。

6月16日、パスト理事(区理事は、法人法上は理事長)

押川ワイズ 今月の聖句について

聖書の語る平和は、子どもたちが導く世界なのだと気づかされます。こども園の子どもたちと過ごしていると、実は、私たち大人が子どもたちを教え導いているのではなく、子どもたちが私たち大人を平和へと神の国へと導いていることを実感させられます。そして、私たちは子どもたちとの交わりを通して、わくわくどきどきする思いを取り戻すことができます。私たち大人が子どもたちを通して遊びの世界、自由な世界に導かれ、自らのかたくなな心を解放することができるのです。

<2021年7月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
12名	メン 9名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名 合計 0名	83 % (メーキャップ 1名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 現金 年度累計 切手 現金	0g 0円 0g 0円

<8月の行事予定>

EMC/E YES

日	曜	時間	行事内容	場所
6	金		エイズ文化フォーラム	Zoom
12	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
14	土		アジア大会	Zoom
26	木	18:30	横浜クラブ第一例会	Zoom

の宮内・板村ワイズが公証役場に赴き、定款認証を得ることができた。それを受け、7月1日に登記申請をした。一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区は、この日、つまり現在の年度初日に、成立することになる。登記の申請は、7月7日に受理され、正式に法人として動き出すことができるようになった。

法的手続きは終わったので、後は、適宜社員総会（代議員会）を開き、決算などを公告していくことになる。取りあえず、私もそろそろ手を放したいところである。

一方、ほとんどの会員の関心事は、法人化して何の意味があるのか、何をしたいのかということであろう。これについては、法人格があることによる信用の向上や、行政からの仕事を受けられるようになるといったことが挙げられているが、具体的な案件はまだないと思われる。

本来、法人化は、ワイズ運動拡大のための道具であり、目的ではない。この法人化という大きな道具をどう活用するかは、結局のところ、各ワイズに託されたことになる。一応は法人化に携わった者としては、新しい革袋に新しい酒を入れるがごとく、活用していただくのを見届けたい。

「7月第一例会(総会)報告」

大高 治

日時：7月8日(木) 18:30~20:30

場所：Zoom

出席者：青木、秋元、伊藤、大高、古賀、斎藤、佐竹、古田、松島

引き続きコロナ禍により今年度の総会、キックオフミーティングも昨年に続き Zoom 開催になり、伊藤ワイズの司会により、心新たに新年度を迎えることになりました。

1. 開点鐘及び挨拶(古賀会長)
2. ワイズの信条
3. 今月の聖句(佐竹ワイズ)
4. 総会

古賀会長を議長に選出、定足数(定数12名、出席者9名、委

任状2名)を確認して議事を進め、第1号議案から6号議案まで全員の賛成にて可決された。特筆すべきことは次の通り。

① Zoom 併用の新会合方式を早期に導入してコロナ禍に対処。11月の金子ワイズ召天の悲しみを乗り越えんとしている。卓話者の協力を得て他のクラブの方にも例会に参加頂き、かつ他のクラブの Zoom 会合にも参加出来るようになった。

② DBC の大阪長野クラブとも Zoom でつながり、コロナのため進められないでいる熊本スピリッツとは対面での DBC 調印式が早く執り行えることを望んでいる。

③ 短い期間であったが奥園主事には IT 化でご尽力頂いた。その後任には青木主事(横浜 YMCA 学院専門学校校長)において頂き、秋元先生の加入で 20 数年ぶりに女性の入会があった。今後も外国人含む有志の入会を歓迎したい。

④ 会員増強は Extension 委員会が新しいクラブ作りのため活発に活動している。

⑤ 国際交流はコロナ禍、来訪者もなくほとんど出来なかったが、献金で貢献した。

⑥ 使用済み切手の収集は、郵送費が高く、東日本区の今後の課題。

⑦ コロナ禍でスピーチコンテスト、幼児サッカーも開催できなかった。

⑧ 金子ワイズの召天に伴い年会費中1か月分は返却すべきところ、90周年記念に当たる12月までは在籍者として扱って欲しい旨、遺族より依頼され、そのご好意を受けることにした。

⑨ 区献金協力金の要請には満額以上で応じた。

⑩ 早期にクラブとしての広報活動の在り方を検討したい。

⑪ 横浜 YMCA の学校で学ぶ留学生がコロナに伴い学費、生活面での困窮や不安を抱えていることを心に留め、彼らと交流の場作りや諸々の計画・施策は YMCA の活動をサポートすることによって達成して行きたい。

⑫ コロナから開放され次第、青木ワイズ、秋元ワイズの入会式を執り行いたい。

5. ビジネス

① 主要行事の確認

・8月14日(土)；第29回アジア太平洋地域大会(台湾)ハイブリッド

・8月26日(木)；第一例会(Zoom)、第二例会は中止
卓話；横浜 YMCA 学院専門学校の青木校長による「日本語スピーチコンテスト等に関することなど」

② 2020年度東日本区からの表彰の報告

・地域奉仕、YMCA サービス事業 ・国際交流事業(各種献金による)、
・会員増強事業 ・ユース事業 ・国際献金

③ 沖縄那覇クラブは解散、沖縄クラブはいったん解散するが沖縄部の独立を目指し東日本区から離れ西日本区へ。

「第1回部評議会報告」

古田 和彦

1. 開催日時・場所・方法

2021年7月31日(土) 15:00~16:30 Zoom によるが、司会(部書記)、部長、直前部長、監事など一部は横浜中央 YMCA 606 教室

2. 31名中31名の出席(内、委任状は11名)

3. 全体司会は部書記の板崎淑子ワイズ（鎌倉）、議事の議長は若木部長
4. 議案とその採決結果
 - 1) 第1号議案「2020～2021年度事業報告」
古田直前部長から提案され、一部質問を受けた後、承認された。
 - 2) 第2号議案「2020～2021年度会計決算報告」
古田直前部長から報告、次いで、峯尾監事から監査報告があった。特に質疑なく、承認された。
 - 3) 第3号議案「2021～2022年度行事予定」
若木部長から資料により説明と提案があった。いくつかのクラブから部長公式訪問日時について問い合わせがあり、部長と当該クラブで確認して行う。承認された。
 - 4) 第4号議案「2021～2022年度個別行事について」
若木部長から部大会の提案があった。10月23日（土）14:00～16:30 於 湘南とつかYMCA
講演：講師 岩室伸也医師 会費：1000円 飲食を伴う懇親会は行わない。なお、新年会については状況を見て後日提案する。以上の提案は承認された。
 - 5) 第5号議案「2021～2022年度会計予算案」
若木部長から資料に基づき提案があり、異議なく承認された。
 - 6) 第6号議案「次年度次期部長の選出について」
若木部長から推薦がある場合は8月末までに部長まで届けてほしいこと。ない場合、部則施行細則に基づき、Aグループ（横浜、鎌倉、横浜とつか、金沢八景）から候補者を出すことと提案があり、異議なく承認された。
5. 東日本区第1回役員会報告（部長）その他各事業主査報告、各クラブ会長活動報告、エクステンション委員会活動報告が行われた。横浜クラブからは9/1開催の日本語スピーチコンテストのアピールが行われた。
当クラブの出席者：古賀、古田、大高（委任状）

「近況 老境？」

松島 美一



妻は長年パーキンソン病で要介護状態でした。私もその介護につきっきり、外出もままならず状態でした。昨年末、妻が夜中トイレで転倒、足を骨折しました。その治療で入院後、嚥下困難をはじめ、次々に身体不具合が出て、病院外での生活ができませんい状態となりました。コロナの蔓延で家族の面会も禁止となり、2週間に1度のLine会話のみが許される面会です。

一緒に暮らすサラリーマンの一人娘は在宅勤務で平日も家にいるようになりました。もっとも昼間は自室に籠もり、居ないはずの上司、同僚との会話の音が漏れてきます。私が外出できる状態になってもワイズの会合の方が休会となり、世間の目とかの問題もあり、“Stay home”を強いられています。会合へのZOOM参加は何とか慣れてきましたが。

日曜日の教会礼拝が唯一の外出機会ですが、出席者少なく、互いに席を離して座っています。讃美の歌声も空気に響きます。礼拝後もマスク姿で会話少なく、皆そそくさと家路に就いています。昔風に言えば米寿、これが老境と言うもので

しょうか。

「総会資料が指摘していること」

伊藤 誠彦

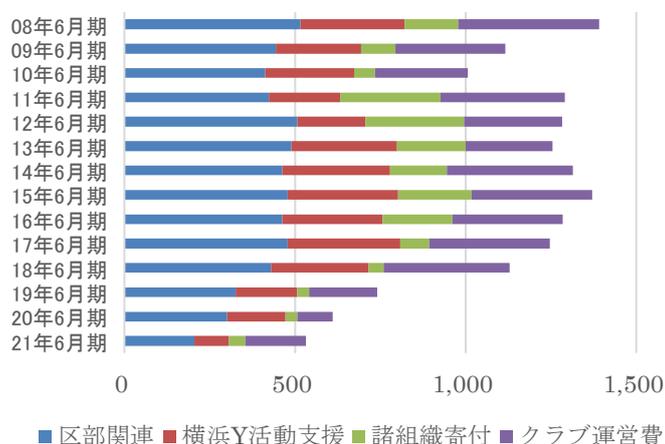


2020-21年度は、大高ワイズの総会報告にもあるように、コロナ禍にもかかわらずZoomを活用して例会開催を途絶えさせることがなかったばかりか、記録的多数のゲスト・ビジターの参加を得ることができた。また、区大会表彰でも全

員金達成賞を受賞するとともに、従来から継続してきた各種団体への支援を提供できたと、総括できる。

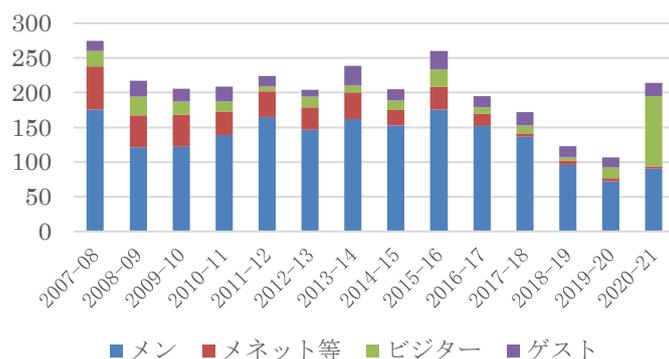
古賀会長をはじめ皆が力を合わせてきた成果の一端であると言える。一方、総会資料を時系列的に見てみると構造的な問題ともいえる問題が見えてくる。相互に関係する二点を指摘しておこう。

年度別クラブ支出内訳推移(単位:千円)



一つは会費収入の範囲で横浜Yをはじめ各種団体を金銭的に支援をすることの限界である。クラブでは例えば例会食事費を参加者負担にするなど、クラブ運営費削減に努め、浮いた経費を支援金に充当するなど、努めてきた。しかし、クラブ支出内訳の時系列グラフは、会員数が限定される中での会費収入頼りの金銭的支援には限界があると同時に、人的貢献支援の必要性を示している。

年度別例会出席者延人数の推移(単位:人)



もう一つは、ここ数年例会出席者の内訳がメンに限定され、メネット等の参加が著しく低下していることである。

これは例えば、日本語を学ぶ留学生に寄り添い、宿泊や休息の場所を気持ちよく提供するなど、金銭では算定できない人的貢献価値を提供するうえで足枷になり得る。

我が国の人口構成的にも量的拡大があまり期待できない中、活動の在り方を見直す時期に来ていると考える。

第二例会報告

古田 和彦

日時：7月22日(木)17:10~18:55

場所：Zoomによる開催

出席者：青木、伊藤、大高、古賀、古田

協議・確認・検討事項

1. 行事予定

資料により予定が示された。8/12(木)第2例会を追加。

2. 協議・報告事項

1) 8月第一例会 8月26日(木)18:30~ Zoom
卓話者：青木英幸ワイズ(当クラブ担当主事、横浜 YMCA 専門学校校長) 「横浜 YMCA 専門学校の現状」

2) 第8回日本語スピーチコンテスト

9月1日(水)10:30-12:00 Zoomにてのオンラインにて開催する。

横浜クラブの審査員は古田和彦ワイズとする。なお、秋元美晴ワイズは審査委員長として別枠で参加。

3) 横浜クラブ8月第2例会を8/12(木)17:00から開催する。

古賀会長が病気のため8/17から入院することとなり、入院の間は古田副会長が会長職を代行するが、その間の事についての打ち合わせが必要であること、特に、日本語スピーチコンテストへの対応の確認、9月第1例会に予定する「広報について」話し合いの準備。

4) 9月例会 9月9日(木)18:30~

卓話は行わず、「広報について」クラブとしてどう取り組むか、事前に各ワイズに意見を出してもらい、検討するときとする。

5) 2021-22年度のクラブ方針では横浜 YMCA 専門学校で学ぶ外国人留学生へのサポートをあらゆる角度から実施していくことを掲げている。その手始めが8月例会である。チャリティーラン、ウエルカムフェスタ、卒業式・修了式などの機会に交わりを持つようにすること、また、新企画「留学生との交流の場」創造を留学生に提案してもらうなど具現化を図っていく。

6) ブリテン8月号編集計画は原案通り承認した。

7) 秋元美晴ワイズ、青木英幸ワイズの入会式は10月か11月の対面による例会で実施する。

8) 年会費の支払いについては、クラブ資金に余裕があるので、対面例会の時に支払うこととする。

スピーチコンテスト」を開催いたします。

横浜 YMCA カレッジグループ日本語学科の学生が日本語及び日本文化を学ぶ機会と場を広げ、異文化交流を果たすことを支援することと、横浜 YMCA カレッジグループ日本語学科3校の学生が集い、互いに交流することにより、日本語学習への意欲を高めることを目的としています。参加は横浜 YMCA カレッジグループの横浜 YMCA 学院専門学校から4名、YMCA 健康福祉専門学校から1名、YMCA 国際ビジネス専門学校から1名、関東地区の YMCA 日本語学校から YMCA 東京日本語学校(在日本韓国 YMCA)から1名、東京 YMCA にほんご学院(東京 YMCA)から1名、全体で8名を予定しています。現在、各校からの代表者が決まりスピーチコンテストに向けて発表内容をまとめ練習に取り組んでいます。

スピーチコンテスト当日のご視聴につきましては、お手数ですが事前にワイズメンズクラブ毎に参加者を取りまとめたいただきご連絡ください。運営上の都合により参加登録をされた方のみにスピーチコンテスト当日のご案内をさせていただきます。なお、スピーチコンテスト終了後30分程度、オンラインで発表者と交流する時間を設けさせていただき予定です。皆様方のご支援により、日本語スピーチコンテストを開催出来ることに心から感謝申し上げます。

8月例会プログラム

日時：8月26日(木)18:30~20:00

場所：Zoom 開催

司会：松島ワイズ

- 1.開会点鐘及び挨拶 古田副会長
- 2.ワイズソング・ワイズの信条 全員
- 3.今月の聖句 押川ワイズ
- 4.ゲスト・ビジター紹介 古田副会長
- 5.卓話 「横浜 YMCA 専門学校の現状」
青木英幸ワイズ(担当主事、横浜 Y 専門学校校長)
- 6.キックオフ例会 ビジネス・報告 古賀会長
- 7.Happy Birthday 押川沢江、古賀健一郎、田口務、
田口弥生
- 8.閉会点鐘 古田副会長

例会報告：古田ワイズ

9月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
1	水	10:00	日本語スピーチコンテスト	Zoom
7	火		Y-Y's 協議会	Zoom
9	木	18:30	横浜クラブ第一例会	Zoom
23	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 青木英幸にご連絡下さい。

メール aoki_hideyuki@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080

YMCA

だより

担当主事 青木 英幸

横浜ワイズメンズクラブ並びに厚木ワイズメンズクラブに共催をいただき、2021年9月1日(水)10:30~12:00にオンライン(Zoom)を活用し、「第8回横浜 YMCA 専門学校日本語

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★